

平成24年度第1回石狩海浜植物保護センター運営委員会会議録

日時：平成24年4月27日（金）13時30分～15時30分

会場：石狩市役所401会議室

出席：石山優子、瀬野一郎、北條静香、松島肇、安田秀子、萬谷優子、渡辺千秋

事務局：三国義達（室長・途中退席）藤岡修一（センター長）、内藤華子（係長）

傍聴者：なし

議 題

1. 平成24年度事業について
2. 石狩海浜植物保全の方向性について
3. その他

資 料

1. 平成24年度石狩海浜植物保護センター事業計画
2. 石狩海浜植物保全の方向性について

補足資料

1. 石狩海浜植物保護センター運営委員会委員名簿
2. 石狩海浜地保全状況図
3. 平成24年度石狩海浜植物保護センター行事予定表
4. 石狩海浜植物保護センター条例
5. 石狩海浜植物保護センター条例施行規則

<会長・副会長選出>

会長は安田秀子委員、副会長は瀬野一郎委員が選出された。

<議事>

1. 平成24年度事業について

【事務局】 資料1の説明

【石山】 1-4) 子どもの学び支援について、既存の展示やクラフトコーナーでは、小さい子供の関心を引きにくい。小さい子供が取り組めるよう、展示を改善できないか。

【事務局】 フロアに自然素材や絵本を使った遊びコーナーを設けるなど、検討していきたい。

【石山】 設置されている望遠鏡をのぞくが、いつも鳥が見えないので、野鳥観察ができるように、餌台の設置はできないか。

【事務局】自然の中から探すのがよいので、必要ないのでは？という意見もあるが、試験的にやってみることも方法としてあるので、検討したい。

【安田】 1－5) 学校学習支援について、石狩中ではカリキュラム化されたようでよかったと思うが、石狩小でも、同様、カリキュラム化を検討ただけるよう、働きかける必要があると思う。

【事務局】毎年利用はあるので、カリキュラムとしての位置づけについては、今後、機会を見て学校側と話をしていきたい。

【松島】 1－6) 公園花壇の生育状況は？

【事務局】まあまあの生育だが、除草の手は必要。紅南公園では、地元のボランティアさんに引き続きお願いしたい。

【安田】看板だけでは、石狩のシンボルでもある海浜植物を知ってもらうという啓発効果はイマイチ。近隣の児童館にイベント的に取り組んでもらうなどして行うことで効果は上がるかもしれない。

【事務局】状況みながら、検討する。紅葉山公園のいかだは散策者も楽しんでいるようで効果上がっている様子。

【安田】 2・3での、植生調査やモニタリング調査関係でのボランティア協力はどの程度か。

【事務局】植生モニタリングで9月に3日程度お願いすると思う。

【安田】 4. 調べる学習コンクールでのセンターでの取り組みに関する具体的な予定は？

【事務局】石狩浜の自然をテーマした自由研究の例を展示で紹介することを考えている。

【安田】 5. 環境整備自然観察園の散策路延長について、ウッドチップは風化後、腐葉土となって植生に影響をおよぼしかねない。再検討する必要はなか。

【事務局】 予備的に敷いた箇所があり、状況を見ながら、再検討の必要あればそのようにする。

【萬谷】 今回の散策路延長は、平成22年度に示された観察園のイメージ図

に基づいているのか。

【事務局】 ある程度は参考にしているが、イメージ図はあくまでも学生が造園学会のコンペとして描いたもので、実際は管理の関係もあり、そのとおりにはいかない部分も多い。

【松島】 全体として事業が増えているようだが、廃止したものはないのか。

【事務局】 事業数自体は増えているが、実質、自然観察会の共催が増えるなど、業務量自体は変わらない。

2. 石狩浜海浜植物保全の方向性について

【事務局】 資料2の説明

【松島】 これで、植生部の保全に関する方向性は出たが、今後は、利用面での方向性、位置づけを明確にしていくべきと考える。植生保全により排除されたバギー車等の利用者が、銭函や厚田の海浜地で走行し、新たな植生破壊を生じさせないか。大きなビジョンを描く必要があると考える。

【安田】 以前、市域全体を包括する自然保護計画の予定があると伺っていたが。

【事務局】 環境基本計画の中で自然環境の保全の方針を策定するとうたっている。今年度は事業化していないが、近い将来、策定に向けて取り組んでいくことになる。

3. その他

【北條】 センター職員のあいさつ（来館者への声かけ）の励行をお願いしたい。

【事務局】 現場の職員も含め指導し徹底したい。

【事務局】 他なければ、次回は9月頃の開催を予定。隣接地の活用等について、現地を見ながら検討したい。